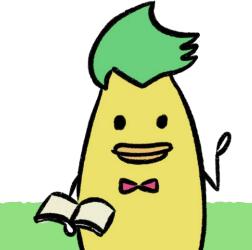
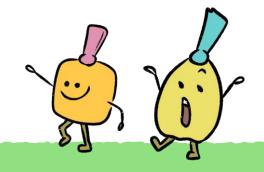


\北海道の地図を広げて/

るるほどうく

留萌地方

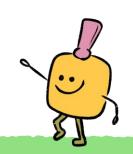




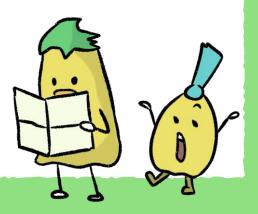


地形編

留萌地方はどんなところ? 留萌地方はどんな地形?



なるほどうぐ北海道





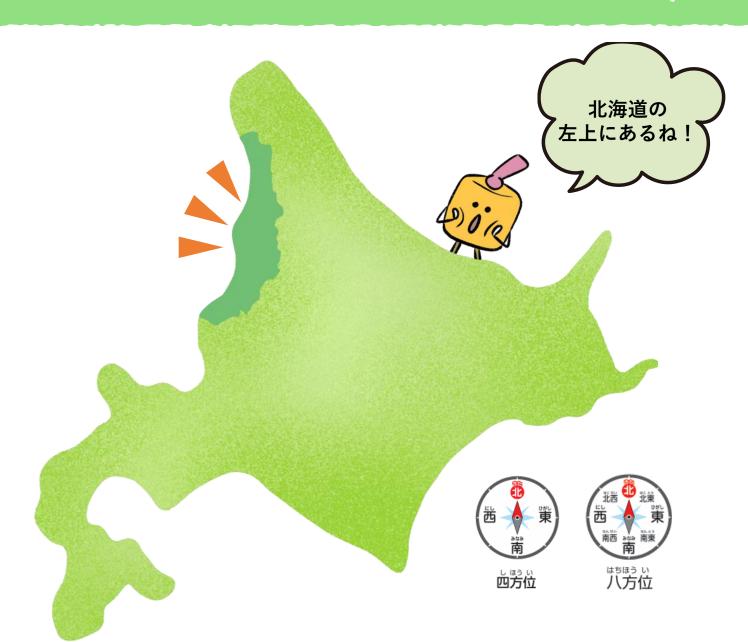
留萌地方は 北海道の どのあたりだろう?





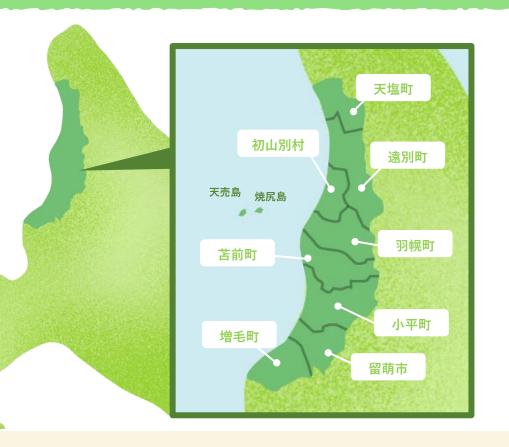
留萌は北海道のどのへんと言えばよいかな?

北海道の上に時計をのせて考えてみましょう。 まんなかから見ると、12時の方向が「北」、6時 の方向が「南」、3時の方向が「東」、9時の方向 が「西」です。そうすると、留萌地方は北と西の 間になりますね。この場合は「北西」とよびます。





なるほど



留萌地方はどんなところ?

るもい ちほう

留萌地方は、北海道の北西に位置し、日本海に面した美しいエリアです。この地方には、北からじゅんに、 大塩町・遠別町・初山別村・羽幌町・苫前町・小平町、 留萌市・増毛町があります。

天塩町から増毛町までおよそ130キロメートルにもわたって南北に長く広がっています。西側には、海上に浮かぶ天売島と焼尻島が見え、地域の風景にさらに魅力を添えています。

「島根県と同じ広さの留萌地方〕

留萌地方の面積は約3445.87平方キロメートルで、これは日本で最も人口が少ない鳥取県とほぼ同じ広さです。鳥取県が砂丘や海岸線などの豊かな自然で知られるように、留萌地方も北海道ならではの広大な景観と自然が魅力です。

都市のイメージが強い東京都や大阪府とは異なり、のびやかな自然が広がる地域で、それぞれに異なる表情と魅力が感じられます。

□ 比べてみよう

地図帳の統計のページで 調べてみよう!! 留萌地方だけでひとつの都 道府県と同じくらいの面積 なんだ!







留萌の地形を 見てみよう



提供: NPO法人留萌観光協会



提供:NPO法人留萌観光協会

日本海

増毛山地



留萌地方の北には、日本で4番目に長い天塩川が流れており、その川は天塩町から日本海へと注ぎます。 南側には暑寒別岳を含む増毛山地がそびえ、東は天塩山地に囲まれています。

西は日本海に面しており、美しい海の景色や夕日が見られることから、「暑寒別天売焼尻国定公園」としても有名です。さらに、留萌地方を南北に走る「日本海オロロンライン」は、景色の美しい道路として多くの人に親しまれています。



天塩山地

[日本海オロロンライン」の「オロロン」って?]

「オロロン」とは羽幌町の天売島に生息する 海鳥のオロロン鳥にちなんでいいます。一時は ぜつめつしそうになりましたが、国や天売島の 人々の努力よっておよそ100羽ちかくまで回復 しました。保護活動が続けられています。







三年の記録

[冷たい風を防ぐ防雪柵の役割]

冬になると対馬暖流の影響で 冷たい強風が吹くため、「防雪 柵」が設置されています。この 防雪柵は、吹雪や積雪から道路 を守り、冬季の安全な交通を支 える重要な設備です。



是供:留萌開発建設部

冬の強い季節風

北海道の日本海側では、冬になるとたくさんの雪が降ります。これは、 対馬海流が海の上の空気を暖め、水蒸気がたくさん含まれた雲を作り出す ためです。その雲が、冬の強い季節風によって留萌地方まで運ばれ、吹雪 となることも少なくありません。

冬の季節風は、地域の暮らしにさまざまな影響を与えます。高い波で天売島や焼尻島へのフェリーが欠航します。陸上では、積もった雪がまき上げられて「地吹雪」が発生し、道路が見えなくなることもあります。さらに「吹きだまり」として雪がたまり、交通が止まることもあります。こうした地吹雪は、登校も難しくし、安全のため学校が休みになることもあるのです。

冬の季節風と雪に対し、地域の人々は暮らしを守るため、冬の安全な交通を支える工夫をしています。



日本海で発生する雪雲が陸地へ入り込む 雄冬丸の写真は「提供: 増毛町」でお願いいたします。天塩川 の写真は「提供: 北海道開発局」です。



CCTVカメラは、 道路や川などの 設備を監視する ためにも使われ てます!





CCTVカメラから見たオロロンラインの様子(提供:北海道開発局)